

MITSUBISHI

三菱電機 **ビル** 空調管理システム

ネットワークリモコン
ユニットリモコン

PAR-F26M / PAR-F26M-LN
PAR-F35M-B

据付説明書

この説明書はリモコンの据付についてのみに記載しております。空調機本体への配線および空調機本体の据付方法に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。

また安全のため、下記 **(1) 安全のために必ず守ること** をよくお読みのうえ、据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に充分耐える所へ確実にしなう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

改造、修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

据付工事は、この据付説明書に従い確実にしなう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分にしなう。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

配線は張力がかからないように配線工事をしなう。
断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。

リモコンコード引込み口をパテで確実にシールする。
露、水、ゴミ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。
感電、故障の原因になることがあります。

配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
漏電や発熱、火災の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
火災、故障の原因になることがあります。

絶縁シートを外さない。
火災、感電の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。

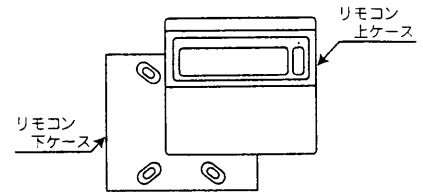
ボタンを先のとがった物で押さない。
感電、故障の原因になることがあります。

AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。本機への印加電圧は最大でDC30Vです。
破壊、発火、火災の原因になることがあります。

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

- (1) リモコン（上ケース、下ケース）..... 1
- (2) 3芯リモコンコード（ユニットリモコンのみ）..... 1
- (3) 十字穴付きナベネジ M4×30 2
- (4) 木ネジ 4.1×16（壁に直接取付ける時使用）..... 2



お願い ネットワークリモコンのリモコンコードは現地手配となります。

下記に示す仕様に相当する電線を用意してください。

電線仕様 (CVV)

1.25mm²のケーブルは10mを超える所から延長用としてお使いください。

○10m以内.....0.75mm²の2芯ケーブル

○10mを超える部分.....1.25mm²の2芯ケーブル

リモコンの配線引込み部分は最大1.25mm²の電線を通せます。

但し、作業上0.75mm²の電線を推奨します。

3 据付方法

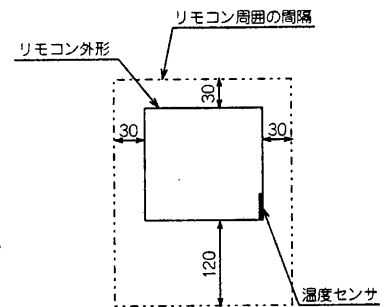
(1) リモコン（スイッチボックス）の据付け位置を決めてください。

但し下記の事項を必ず守ってください。

① 温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いていますが、リモコンの温度センサを使用する場合、主リモコン設定したリモコンにて室温を検知します。主リモコンは部屋の平均的な温度を検知できる場所で、直射日光やエアコンの吹出し空気が直接当たらないなど熱源の影響を受けない所に据付けてください。

（リモコンの主/従設定は 5 伝送線配線 の③をご覧ください。）

② スwitchボックス、壁どちらに据付ける場合でも、右図に示すスペースを確保してください。（但し、スケジュールタイマー併用時はスケジュールタイマーの据付説明書を合わせてご覧ください）



お願い リモコンのセンサ付近に配線等が無いことを確認してください。配線等がある場合、リモコンにて正確な室温を検知できません。

③ 下記の部品は現地にて調達してください。

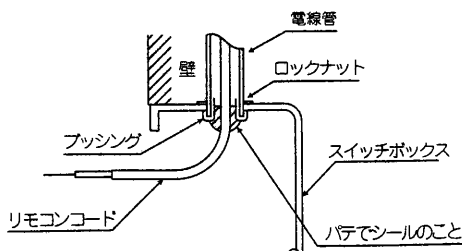
- ・2 個用スイッチボックス (JIS C8336)
- ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ロックナット、ブッシング (JIS C8330)

(2) 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。

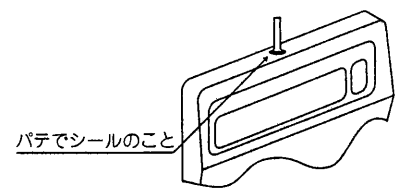
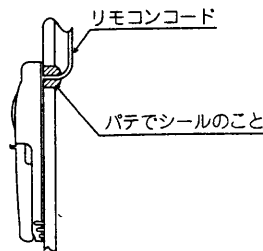
- ・スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。

- ・壁に穴を開けリモコンコードを通す場合（リモコンコードをリモコン背面から出す場合）その穴をパテでシールしてください。
- ・上ケースの切り取った部分よりリモコンコードを通す場合は上ケースの切り取った部分を同様にシールしてください。

スイッチボックスを使用する場合



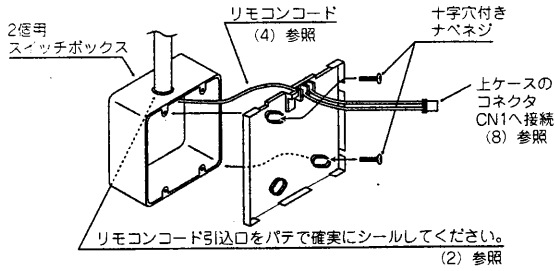
壁に直接据付ける場合



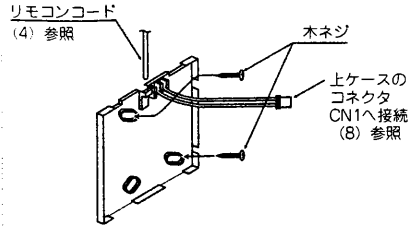
リモコンコードをリモコン背面から出す場合 リモコンコードをリモコン上部から出す場合

(3) 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。

スイッチボックスを使用する場合



壁に直接据付ける場合

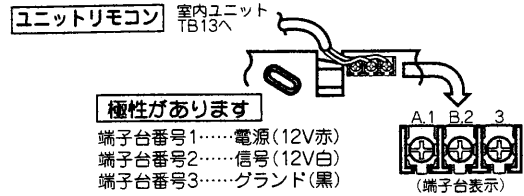
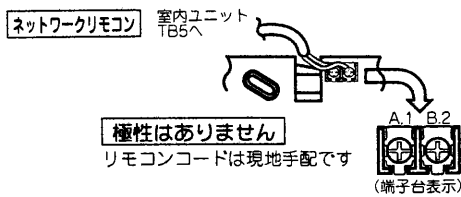


△注意 ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因となります。

お願い ・据付面は平らな所をお選びください。
 ・スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2カ所以上を固定してください。

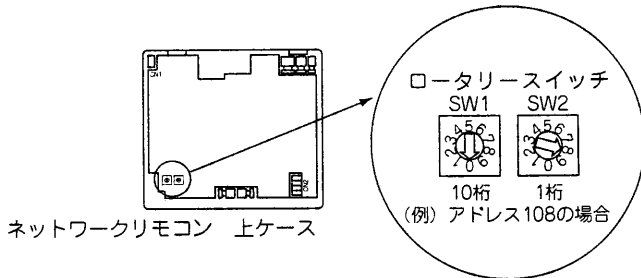
(4) リモコンコードを下ケースの端子台に接続します。

リモコンの種類によって、端子台の極数や接続方法が異なります。下図を参照して正しく配線してください。



△注意 リモコンの端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因となります。

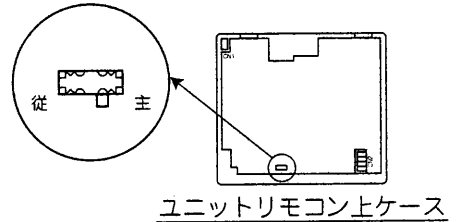
(5) ロータリスイッチでリモコンのアドレスを設定します。(ネットワークリモコンの場合)



ロータリスイッチの設定	アドレスNo
01~99	100を付加した数字で101~199
00	200

おしらせ ・ネットワークリモコンで設定できるアドレスNoは101~200までです。100の位は「1」で固定されています。
 ・工場出荷時、ロータリスイッチは01に設定してあります。

液晶画面にて、設定したアドレス(自己アドレス)を確認することができます。操作方法については、⑦「自己アドレス確認」をご覧ください。



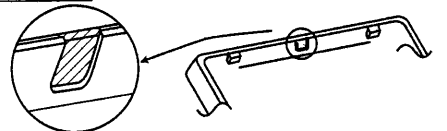
(6) ユニットリモコンを1グループ内で2台使用する場合は右図のスイッチにて主/従を設定してください。

(リモコンの主/従設定は⑤「伝送線配線」の③をご覧ください)
 ・工場出荷時、スイッチは「主」に設定してあります。

お願い リモコンの主/従 設定は正しく行なってください。誤動作、異常の原因となります。

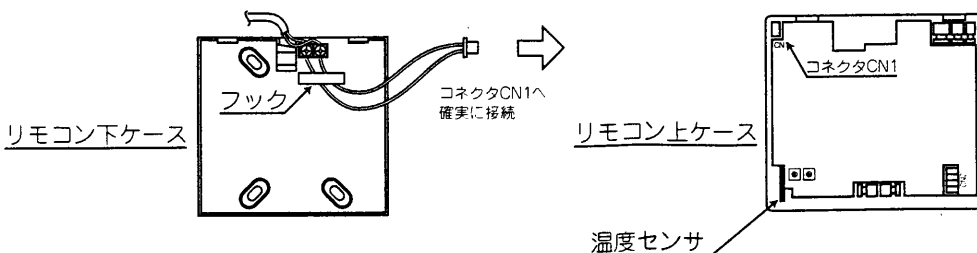
(7) 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線穴(露出配線の場合)

- ・上ケースの薄肉部(斜線部)をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
- ・端子台に接続したリモコンコードをこの部分から出します。

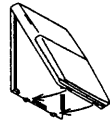


(8) 下ケースのコネクタを上ケースのコネクタCN1に接続します。

△注意 ・接続後、右図のようにぶら下げないでください。コードが切れるなど、動作に支障をきたすおそれがあります。
 ・コードは必ずフック(コード固定)に通してください。通していない場合、端子台に直接力が加わりコードが切れる可能性があります。
 ・基板保護シート、基板は取外さないでください。故障の原因となります。
 ・温度センサに触れないでください。リモコンにて正確な室温を検知できなくなります。



(9) 上ケースをはめ込みます。



上ケースを外す場合は右図のようにマイナスドライバーを爪部分にはめ込み矢印で示す方向に動かします。



上部爪（2カ所）を先に掛けて、上図のように下ケースにはめ込みます。

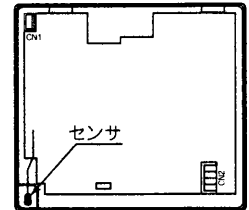
△注意 “パチッ”と音がするまで確実ににはめ込んでください。確実ににはまっていない場合、落下の恐れがあります。

△注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

お願い 操作部には保護シートが貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

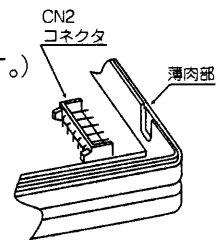
(10) リモコンには温度センサが付いています。

温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いており、どちらか一方のセンサを使用します。設定は室内ユニットで行ないますので、詳細は室内ユニットの据付説明書をご覧ください。



4 別売部品の接続

- スケジュールタイマーを接続する場合、上ケースのコネクタCN2（タイマー接続コネクタ）に5芯ケーブルを接続してください。（5芯ケーブルはスケジュールタイマーに付属されています。）
 - ケーブルを通すため、上ケースの薄肉部を切り取ってください。
 - 配線経路の都合上、壁などに直接据付ける場合スケジュールタイマーはリモコンの左側へ据付けます。このためスケジュールタイマーを増設する予定のある場合、リモコン左側のスペースを考慮して設置してください。
- なお詳しい据付方法についてはスケジュールタイマーの据付説明書をご覧ください。

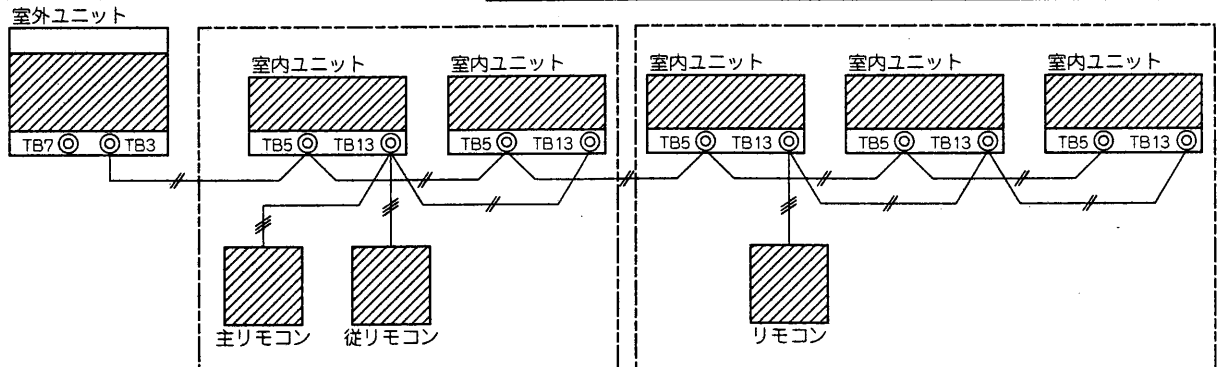


5 伝送線配線

ユニットリモコンとネットワークリモコンでは配線方法、アドレスの設定方法が異なりますので注意してください。

ユニットリモコン配線方法

(例)



お願い ユニットリモコンとネットワークリモコンの併用はしないでください。

① リモコンからの配線

- 室内ユニットのTB13（ユニットリモコン接続用端子台）へ接続します。
- 端子台には極性がありますのでそれぞれの端子台の番号を合わせて接続します。端子台番号は1,2,3となっています。番号を合わせて接続してください。

② グループ運転する場合

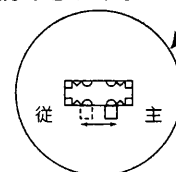
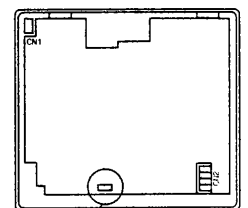
- グループ運転する室内ユニットどうしのTB13（ユニットリモコン接続用端子台）を接続します。
- 配線は端子番号2,3に接続となります。この場合も極性がありますので番号どうしを合わせて接続してください。

③ 各室内ユニットまたはグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。

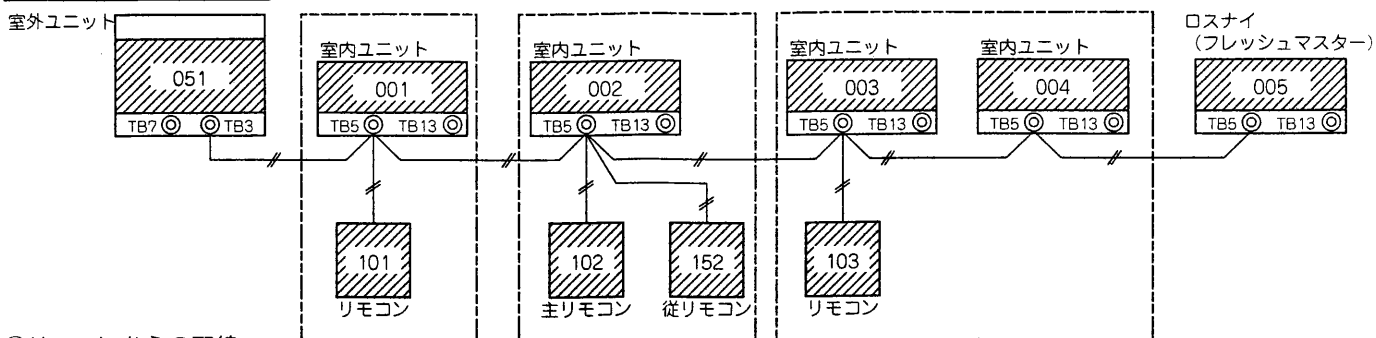
- 接続は①と同様です。同一の室内ユニットに接続してください。
- この場合、主リモコンと従リモコンの設定を必ず行なってください。設定は右図で示すスイッチにて行ないます。リモコンが1台の場合、スイッチは主側に設定します。

④ ユニットリモコンの場合アドレスの設定は不要です。

⑤ 上記設定内容は同一冷媒系統のみで有効です。



ネットワークリモコン配線方法 同一冷媒系統の場合 (例)

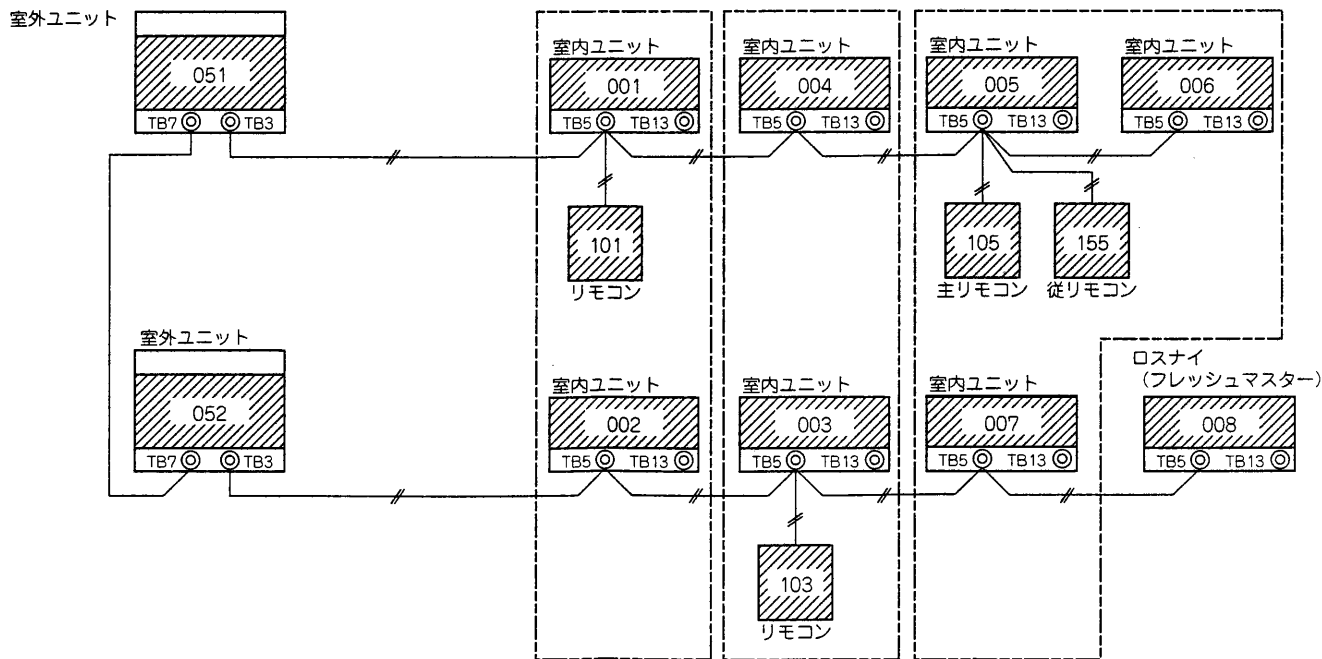


- ①リモコンからの配線
 - ・室内ユニットのTB5 (伝送線用端子台) へ接続します。
 - ・端子台には極性はありません。
 - 端子台に示してあります記号のA,Bに接続します。
- ②グループ運転する場合
 - ・グループ運転する室内ユニットの親機のアドレスにリモコンのアドレスを合わせます。
 - 親機アドレスはグループ内の最小アドレス番号を示します。
 - この親機アドレス番号+100にリモコンアドレスを設定します。
- ③各室内ユニットまたは室内ユニットで構成するグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。
 - ・接続は①と同様です。
 - ・この場合、主リモコンと従リモコンのアドレス設定を必ず行なってください。
 - 従リモコンの設定は、室内ユニットの親機アドレス+150となります。
- ④ロスナイ (フレッシュマスター) を連動させる場合は、リモコンで次の設定をしてください。(この場合の設定方法につきましては、**⑥ | グループ設定、連動設定**) を参照ください。
 1. 連動する室内ユニットとロスナイ (フレッシュマスター) を設定します。
 2. グループ内の最小アドレス番号の室内ユニットを設定します。

お願い この場合、必ずグループ内の最小アドレス番号の室内ユニットとロスナイ (フレッシュマスター) を連動設定してください。設定しませんでしたらロスナイ (フレッシュマスター) は運転しません。

⑤同一冷媒系統の場合の設定は、上記内容で終了です。

ネットワークリモコン配線方法 異冷媒系統の場合 (例)

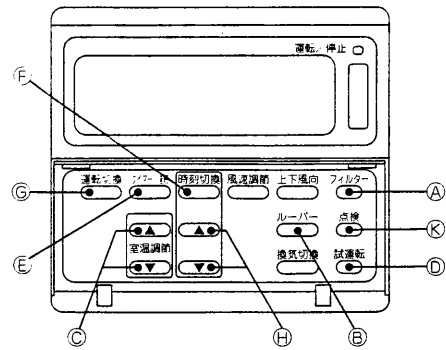


- ①リモコンからの配線 (同一冷媒系統の場合と同じ)
- ②グループ運転する場合
 - ・グループ運転する室内ユニットの親機のアドレスにリモコンのアドレスを合わせます。
 - 親機アドレスはグループ内の最小アドレス番号を示します。
 - この親機アドレス番号+100にリモコンアドレスを設定します。
- ③各室内ユニットまたは室内ユニットで構成するグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。(同一冷媒系統の場合と同じ)
- ④ロスナイ (フレッシュマスター) を連動させる場合は、同一冷媒系統と同じ設定をしてください。
- ⑤異冷媒系統の場合グループ分け等の設定を各リモコンで行ないます。(詳細は **⑥ | グループ設定、連動設定**) の項目を参照ください。)
- ⑥異冷媒系統の場合の設定は、上記内容で終了です。

6 グループ設定、連動設定 (ネットワークリモコンの場合)

異冷媒系統間でグループの設定をする場合この操作を行ないます。

- (A) グループ設定…リモコンでコントロールする室内ユニットの登録、登録した内容の検索、登録抹消を行ないます。
 (B) 連動設定…室内ユニットと連動させるロスナイ (フレッシュマスター) の登録、登録した内容の検索、登録抹消を行ないます。



操作手順

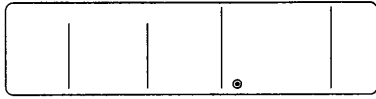
(1) アドレス登録

リモコンにコントロールする室内ユニットを登録します。

① リモコンの運転を停止します。

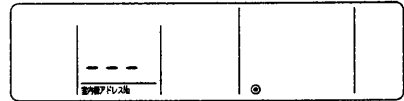
- (運転/停止) ボタンでリモコンの運転を停止の状態にします。

このとき、液晶画面は下図のようになっております。画面が異なれば、次の操作ができません。



② 「室内機アドレスNo」の表示を出します。

- (A) (フィルター) と (B) (ルーバー) ボタンを同時に2秒押しますと下図の表示になります。



(A) グループ設定の場合

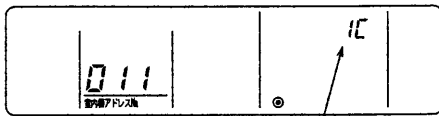
③ アドレスNoを合わせます。

- (C) (▲) (▼) (室温調節) ボタンを押しますとアドレスNoが前後しますので登録したいアドレスNoに合わせます。

④ 表示したアドレスNoのユニットを登録します。

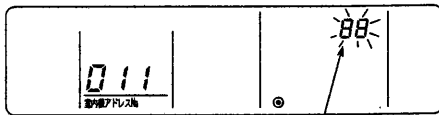
- (D) (試運転) ボタンを押しますと表示されているアドレスNoの室内ユニットが登録されます。
- 正常に登録されますと下図のようにユニットの種類を表示します。
- 指定した室内ユニットが存在しない場合、エラーの表示が出ますので、室内ユニットの存在を確認し、再度上記操作を行なってください。

正常終了の場合



ユニットの種類を表示します。
(この場合室内ユニットを示します。)

エラーの場合



登録エラーとして「88」を点滅します。
(登録した室内ユニットが存在しない場合に発生します。)

⑤ 複数の室内ユニットを登録する場合、③と④の操作を繰り返し行ない登録します。

アドレス検索の場合
(2)アドレス検索の項へ

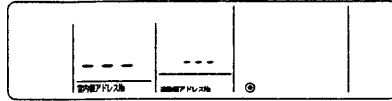
通常の状態に戻す場合

- ⑩ (A) (フィルター) と (B) (ルーバー) ボタンを同時に2秒押しますと①の状態に戻ります。

(B) 連動設定の場合

⑥ 「連動機アドレスNo」の表示を出します。

- (G) (運転切換) ボタンを押しますと下図の表示になります。もういちど押しますと②の「室内機アドレスNo」の表示に戻ります。

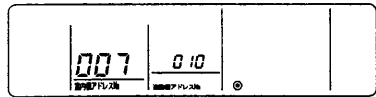


「室内機アドレスNo」と
「連動機アドレスNo」の表示が同時に表
示されます。

アドレス検索の場合
(2)アドレス検索の項へ

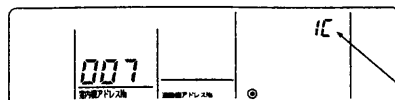
⑦ ロスナイ (フレッシュマスター) アドレスNoとそれと連動する室内ユニットのアドレスNoを表示させます。

- (C) (▲) (▼) (室温調節) ボタンを押しますと「室内機アドレスNo」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNoに合わせます。
- (H) (▲) (▼) (時刻設定) ボタンを押しますと「連動機アドレスNo」が前後しますので登録したいロスナイ (フレッシュマスター) のアドレスNoに合わせます。



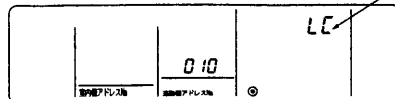
⑧ ロスナイ (フレッシュマスター) を室内ユニットに連動させるための登録を行ないます。

- (D) (試運転) ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内機アドレスNo」で示した室内ユニットと「連動機アドレスNo」で示しているロスナイ (フレッシュマスター) とが連動されます。
- 上記内容は「室外機アドレスNo」にロスナイ (フレッシュマスター) アドレスを、「連動機アドレスNo」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に登録できます。



登録が正常終了しますと、左図のように交互に表示します。
登録エラーの場合「88」表示が点滅します。(ユニットが存在しないことを示します。)

(交互に表示)



お願い

- グループ内の最小アドレスNoの室内ユニットとロスナイ (フレッシュマスター) の設定は必ず行なってください。設定しませんでしたと、ロスナイ (フレッシュマスター) は運転しません。
- ロスナイ (フレッシュマスター) と連動させたい室内ユニットが複数ある場合は、その室内ユニット全てに対し上記⑦、⑧を行なってください。

⑨グループ内の最小アドレスNoの室内ユニット以外に連動させたい室内ユニットがある場合。

- この場合、連動する室内ユニットのアドレスNoとロスナイ（フレッシュマスター）とで上記⑦、⑧の設定を行ないます。



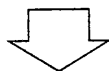
通常の状態に戻す場合
⑩の操作を行ないます。



アドレス検索の場合
(2)アドレス検索の項へ

(2) アドレス検索

リモコンに登録してある室内ユニットのアドレスNoを表示します。①、②の操作を行ないます。

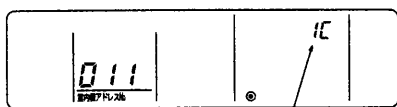


(A) グループ設定の場合

⑪「室内機アドレスNo」を表示させます。

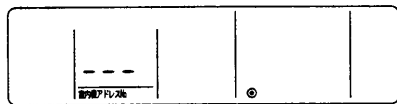
- ⑤ (タイマー/連続) のボタンを押すたびに登録されている室内ユニットのアドレスNoとユニットの種類を表示します。

登録あり

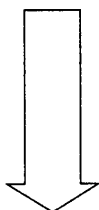


ユニットの種類を表示します。
(この場合室内ユニットを表示します。)

登録なし



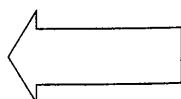
- 登録が1つの場合、何度押しても1つのアドレスNoを表示します。
- 登録が複数ある場合 (例「011」、「012」、「013」)
⑤ (タイマー/連続) のボタンを押すたびに
011→012→013の順に表示します。



通常の状態に戻す場合
⑩の操作を行ないます。



アドレス抹消の場合
(3)アドレス抹消の項へ



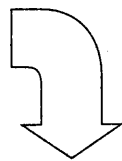
(3) アドレス抹消

リモコンに登録されている室内ユニットを抹消します。
アドレス検索を行ない抹消したい室内ユニットのアドレスNoまたはロスナイ（フレッシュマスター）アドレスNoを表示させて行ないます。

⑮登録されている室内ユニットを抹消します。

- ⑥ (時刻切換) のボタンを2回押すと、「室内機アドレスNo」で示す番号の室内ユニットを抹消します。
抹消されると下図のような表示になります。

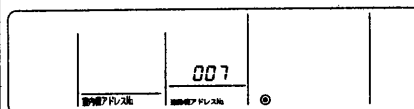
(B) 連動設定の場合



⑥の操作を行なった後、以下のようにします。

⑫検索したい室内ユニットのアドレスNoを表示させます。

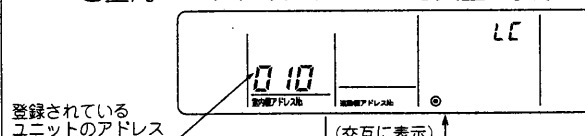
- ④ (時刻設定) ボタンを押しますと連動機アドレスNoが前後しますので検索したい室内ユニットのアドレスNoに合わせます。



- 上記内容は連動機アドレスNoにロスナイ（フレッシュマスター）アドレスを表示させても同様に検索できます。

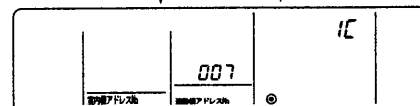
⑬⑫で連動されているロスナイ（フレッシュマスター）アドレスNoを表示。

- ⑤ (タイマー/連続) のボタンを押すと連動されているロスナイ（フレッシュマスター）のアドレスNoと室内ユニットのアドレスNoを交互に表示します。



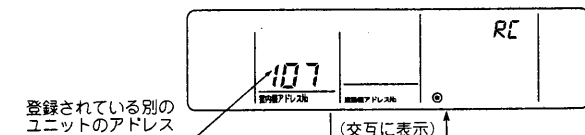
登録されている
ユニットのアドレス

(交互に表示)



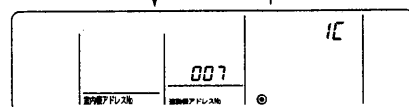
⑭登録されている別のユニットのアドレスNoを表示。

- ⑫に続いてもう一度 ⑤ (タイマー/連続) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNoが表示されます。(表示の方法は⑬と同じです。)

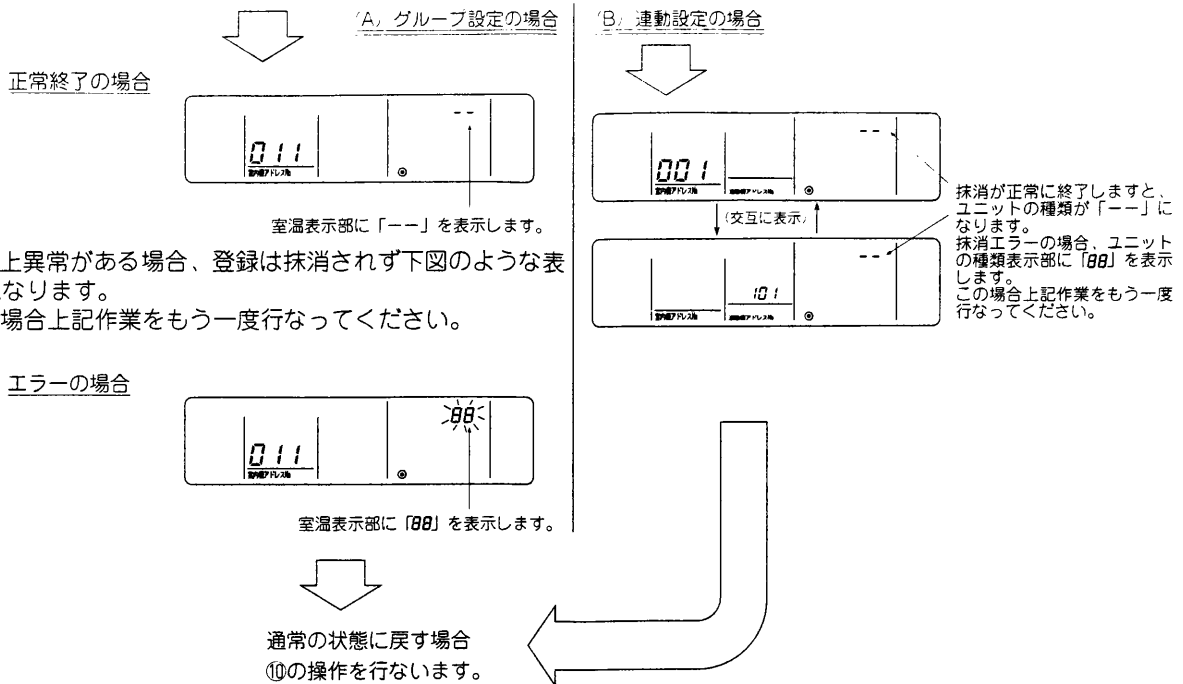


登録されている別の
ユニットのアドレス

(交互に表示)



アドレス抹消の場合
(3)アドレス抹消の項へ



- 伝送上異常がある場合、登録は抹消されず下図のような表示になります。
この場合上記作業をもう一度行ってください。

(4) 任意のリモコンによる他のグループの (A) グループ設定、(B) 連動設定

- 任意のリモコンで他のグループの (A) グループ設定、(B) 連動設定を行なうことができます。
操作方法は (6) **グループ設定、連動設定** の (B) 連動設定の場合をご覧ください。
アドレスNoは下記のように設定してください。
- (A) グループ設定を行なう場合
連動機アドレスNo…リモコンのアドレスNo
室内機アドレスNo…リモコンで操作する室内ユニットのアドレスNo
- (B) 連動設定を行なう場合
連動機アドレスNo…ロスナイ (フレッシュマスター) のアドレスNo
室内機アドレスNo…ロスナイ (フレッシュマスター) と連動する室内ユニットのアドレスNo

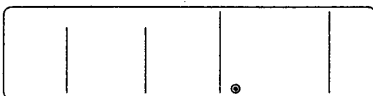
7 自己アドレス確認 (ネットワークリモコンの場合)

リモコン据付け時に行ったアドレス設定 (ロータリースイッチSW1,SW2)の内容を液晶画面にて確認することが出来ます。

操作手順

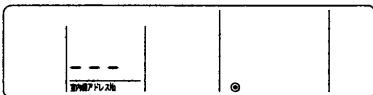
① **リモコンの運転を停止します。**

- (運転/停止) ボタンでリモコンの運転を停止の状態にします。
このとき、液晶画面は下図のようになっております。画面が異なれば、次の操作ができません。



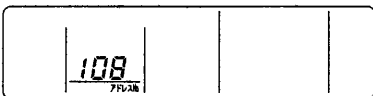
② **「室内アドレスNo」の表示を出します。(グループ設定モード画面)**

- (A) (フィルター) と (B) (ルーバー) ボタンを同時に2秒押しますと下図の表示になります。



③ **自己アドレスを表示します。(2回点滅)**

- (K) (点検) ボタンを押しますと下図の表示になります。(例、自己アドレス108の場合)



※2回点滅後は②の表示 (グループ設定モード画面) に戻ります。

④ **通常の状態に戻します。**

- (A) (フィルター) と (B) (ルーバー) ボタンを同時に押しますと下図の表示となり、自己アドレス確認は終了しました。

